

2015年 アジア都市景観賞授賞式を開催

去る10月27日、今年で6回目を迎える「アジア都市景観賞」の授賞式をグランドハイアット福岡にて開催しました。

今回は5カ国11案件が受賞し、中国・韓国・ベトナム・スリランカ、そして、国内は福岡県・萩市・南魚沼市の受賞関係者並びに領事館来賓や招待客を含む延べ80名を超す参加をいただき盛会裏に終えることができました。

今年の授賞式は「ポスターセッション」「表彰式」「交流会」の3部構成で開催されました。

最初の「ポスターセッション」では、受賞者よりプロジェクトに関するポスターやパンフレットが披露され、来場者はその特色ある景観形成事業の概要を視覚的に把握することが出来ました。



続く「表彰式」では、冒頭に開催都市代表として福岡市の貞刈厚人 副市長によって、高島市長からのご挨拶が代読されました。続いて、国連ハビタット福岡本部本部長 深澤 良信 氏より主催団体代表挨拶があり、また、アジア景観デザイン学会名誉会長の佐藤 優 氏による選考報告からは、白熱した審査会が行われたことがうかがえました。

晴れの表彰の舞台では受賞代表者に登壇いただき、賞状と記念の盾が授与されました。会場は大きな拍手に包まれ、その記念的な瞬間をカメラに収めようとする姿が数多く見られました。



「交流会」では、福岡アジア都市研究所の橋田会長による歓迎挨拶に続き、グイベトナム総領事による来賓挨拶をいただきました。南魚沼市から差し入れていただいた地酒も振舞われ、友好的な雰囲気の中歓談が弾みました。「都市」や「景観」をキーワードに、参加者は交流を深める有意義な夕べとなりました。



以上